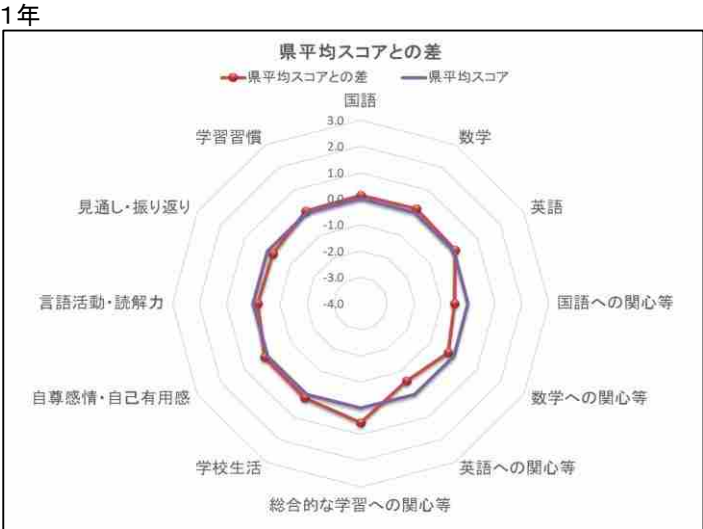


平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立東出雲中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○文法や作文の問題が県平均を上回っており、比較的無回答が少ない。 ●語彙が少ないために、内容が理解しづらい場合が多い。また、小学校で履修する漢字が定着していない割合が高い。	○読書の推奨と、授業での意味調べや言語活動を通して、興味・関心を高め、語彙力の向上を図る。 ○漢字の小テスト等で継続した学習を促す。
	数学	○計算力は高いが、文章の読み取り力が低く、間違った式を立てて計算していることがある。 ●図形に関する問題が弱く、グラフの利用で面積を求めてからの応用力が低い。 ●わからないと、何も書こうとしない生徒が少なくない。	○授業に関して、小学校の復習から始め中学校の内容を関連づけて教える。 ○HWPや計算力テストの効果が出ていると思われる。よって、HWPで文章題の問題を多く出すようにする。
	英語	○読んだり聞いたりして要点をとらえる問題の正答率が高く、理解の能力が定着しつつある。 ●聞き取った情報をもとに思考したり、対話を読んでその流れをふまえて作文をするといった表現の能力が不十分である。記述式の問いは無答率も高い。	○思考や判断を促す言語活動を授業の中に設定する。 ○既習表現・新出表現を活用するモデルとしてのTeacher Talkや、生徒相互のやりとりの機会を増やす。
2年	国語	○漢字の読み書き、敬語や品詞の分類など言語事項に関しては正答率が高く、全体的に無答率が低い。 ●文を正確に理解し、自分の考えや意見が効果的に伝わるように工夫し、正しく書く力が十分に身につけていない生徒が多い。	○ワークシートやHWP等を活用し、文章の要点や書き手の考えをまとめたり、自分の考えや意見を正しく記述する機会を増やす。 ○話し合いや学び合いの場面を設定し、周りの意見や文章を参考に自分の意見を表現する機会をもつ。
	数学	○読解力が低いのだが、なんとか解こうとする意欲が高く、無答が少ない。 ●関数の分野が弱い。道筋を示すと解いていくが、グラフを利用した問題から情報の読み取りができていない。 ●nを使って表すような抽象的な問題ができていない。	○問題の意味を理解してから解かせ、じっくり取り組む時間を確保していく。 ○規則性の問題等を取り入れ、文字の良さを教える授業を入れていく。 ○HWP等を活用し、図形の問題に取り組ませる。
	英語	○外国語理解の能力、なかでも聞く力、読む力が定着している。英文の要点を読み取り、質問に答える問いの正答率が高い。 ●外国語表現の能力が県平均を下回り、まとまった内容の英作文を書くことが苦手な生徒が多い。	○思考や判断を促す言語活動を授業の中に設定し、対話が長く続けられるようにする。 ○既習表現・新出表現を活用して、条件英作文に取り組む機会を増やす。 ○長文を読み、大意を要約する活動に取り組ませる。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート

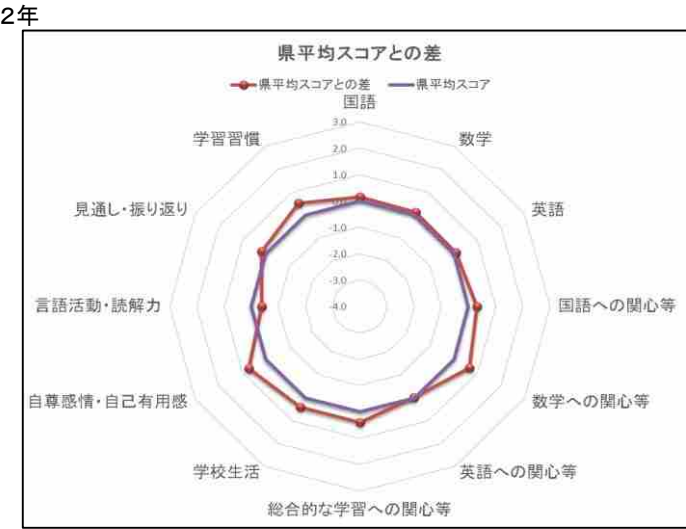


(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	70	42	65
	松江市	68	41	65
	島根県	67	38	64

受検者数
1年生 143 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	本校	68	43	59
	松江市	67	43	58
	島根県	65	40	57

受検者数
2年生 147 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○めあてを意識して学習に取り組んでいる。 ○学習規律がきちんと守られている。 ●振り返りの活動を行っていると考えた生徒の割合が低い。	○授業の最後に振り返りの時間を入れる。振り返りの方法を工夫するとともにどの活動が振り返りに当たるのかを生徒に示す。
	家庭学習に関わる事項	○学校の宿題をしている生徒の割合が高い。 ●家庭学習時間が短い生徒が多い。 ●学校の授業の予習ができている生徒が少ない。	○宿題の量を適切に設定する。 ○保護者と連携して家庭学習の意義や予習の効果を生徒に理解させ、主体的な家庭学習の習慣を育てる。
2年	授業改善に関わる事項	○平日10分以上読書をする生徒の割合や、学校図書館を使って行う授業は楽しいと答えた生徒の割合が多い。 ○自分の考えを発表する機会があると答えた生徒が多い。 ●グループで調べ学習をよくしているという生徒が少ない。	○授業の中で、課題解決やレポートの作成などを通して調べ学習を取り入れていくようにする。
	家庭学習に関わる事項	○「宿題をていねいに見て返している」と回答した生徒が比較的多い。 ○家庭学習の時間を比較長確保できている。 ○将来の目標や夢を持っている生徒が比較的多い。 ●携帯電話の平日の使用時間が比較長。	○メディアコントロールウィークやメディアルールなどを活用して、家庭での携帯電話使用のルールを決める。 ○今後も継続してこまめに家庭学習の様子を評価して、家庭での学習時間を確保できるようにする。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

